

プログラム

受付開始 9:30～

開会の挨拶 10:00～10:05 年会長 寺田 弘

会長挨拶 10:05～10:10 日本薬史学会会長 折原 裕

口演発表 1～3 (各 15 分) 10:15～11:00

座長 森本 和滋 (国立医薬品食品衛生研究所)

辰野 美紀 (順天堂大学医学部)

O-1 日本初のブリッジ品目の承認審査について

○齋藤 充生^{1,2}, 林 譲¹, 矢島 毅彦¹

(¹ヘルスヴィジランス研究会、²日本医薬情報センター)

O-2 明治初期に市販された「喘息煙草」を巡る史的考察

小清水 敏昌 (順天堂大学医学部医史学研究室)

O-3 石見銀山薬石「無名異」の製法：「水篩（水飛・水干）」について

成田 研一 (島根県薬剤師会 江津・邑智支部)

特別講演① 11:00～12:00

「サルファ剤：忘れられた奇跡とその影響」

小林 力 (日本薬科大学教授)

座長 折原 裕 (東京大学大学院薬学系研究科)

昼休み 12:00～13:00

※事前申込時にお弁当をご注文の方は、受付にお越しく下さい。

理事会・評議員会 12:10～12:50 (会場：新潟日報メディアシップ 6 階)

口演発表 4～6（各 15 分） 13:00～13:45

座長 小清水 敏昌（順天堂大学医学部医史学研究室）

夏目 葉子（日本薬史学会）

O-4 緒方洪庵の晩年期使用薬箱：現存薬品の特徴

○高橋 京子^{1,2,3}，井原 香名子³，中村 勇斗³

（¹大阪大学共創機構，²総合学術博物館，³大学院薬学研究科）

O-5 近代医・薬学発祥史 第15報 化学・薬学雑誌の新刊

辰野 美紀（順天堂大学 医学部医史学研究室）

O-6 新潟県の薬学史（明治時代）

五位野 政彦（東京海道病院・薬）

特別講演② 13:50～14:50

「良寛さんに学ぶ -心身医学の立場から-」

櫻井 浩治（新潟大学名誉教授）

座長 寺田 弘（新潟薬科大学）

ポスター発表 15:00～16:00

P-1 日本発バイオ医薬品の

個別症例安全性報告の総数とその年次変化

○小林 哲，森本 和滋，柴田 寛子，石井 明子

(国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部)

P-2 老舗薬局に保管されていた医薬品から歴史的考察 (その3)

○松崎 桂一¹、桐生 直明²

(¹日本大学薬学部・生薬学研究室、²有限会社岡本薬局)

P-3 明治・大正期薬業界における大阪薬業者の貢献

安土 昌一郎

(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター)

P-4 「薄荷」の史的変遷に関する一考察

風岡 顯良 (近畿大学薬学部)

口演発表 7～9 (各 15分) 16:00～16:45

座長 鈴木 達彦 (帝京平成大学)

松本 和男 (京都大学化学研究所)

O-7 ケンブリッジの薬剤師 E・S・ペックの生涯と事績

－薬学・薬史学・郷土の発展のために－

柳澤 波香 (青山学院大学・津田塾大学)

O-8 レプラ・ハウス (Leproserie) の歴史

－フランス・ムルソー (1142年以前創設) から長島愛生園

(1930年創設) まで、世界の6施設を見学して

石田 純郎 (岡山大学医学部)

○-9 インドの薬学教育の歴史における
バグワン ダス ミグラニーの功績
夏目 葉子（日本薬史学会）

口演発表 10～12 （各 15 分） 16:45～17:30

座長 松崎 桂一（日本大学）
船山 信次（日本薬科大学）

○-10 オランダの薬剤師 H. ビュルガーのわが国
薬学史上の意義に関する一考察
西川 隆（東京薬科大学）

○-11 日本におけるアミノ酸・ペプチド・タンパク系
化粧品素材 50 年の変遷
○荒井裕美子¹，川崎元士²，松本和男³
（¹日本医薬情報センター，²日本薬史学会，
³京都大学化学研究所）

○-12 我が国発バイオ医薬品の FDA と EMA での
承認の有無について
○森本 和滋，小林 哲，柴田 寛子，石井 明子
（国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) 生物薬品部）

次年度年会会長挨拶 17:30～17:40
内藤記念くすり博物館 森田 宏

閉会の挨拶 17:40～17:50
日本薬史学会副会長 森本 和滋

情報交換会 18:30～（会場：新潟日報メディアシップ 6 階）